

全国信用金庫大会

～片山財務大臣兼金融担当大臣の挨拶～

本年6月24日、「全国信用金庫大会」が開催され（主催：全国信用金庫協会、共催：信金中央金庫）、片山大臣が、以下のとおり挨拶を行いました。

はじめに

財務大臣兼金融担当大臣の片山さつきでございます。

本日は、全国信用金庫大会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

本大会の開催を心よりお慶び申し上げますとともに、開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

信用金庫の皆様におかれては、日頃より、資金繰り支援にとどまらず様々な面から地域の事業者を支え、地域経済の成長をリードされており、改めて敬意を表します。



写真：挨拶する片山大臣
（提供）全国信用金庫協会

中東情勢について

今般の中東情勢を受け、3月27日には官民金融機関と関係省庁を集めた意見交換会を緊急開催し、コロナ禍での実質無利子・無担保融資、いわゆるゼロゼロ融資も含めた既往債務の条件変更や借換え等についても、事業者に寄り添った迅速かつ柔軟な対応を徹底するよう、貴協会を含む、官民金融機関の代表者に対して私から直接働きかけを行うとともに、関係大臣連名による緊急要請を発出させていただきました。

その上で、「日本政策金融公庫のセーフティネット貸付の金利を0.4%引き下げる」ことや、セーフティネット保証5号の対象に「業況が厳しい業種を追加する」ことなどにより、事業者の資金繰りをしっかりと支えてまいります。

また、政府といたしましては、国民生活と経済活動を守り抜くために、燃料油価格の激変緩和措置として、令和7年度予備費等を活用して緊急的な対応を行うなど、様々な取組を進めてまいりました。

引き続き、中東情勢が不透明である中で、今後の物価動向や経済に与える影響を注視しつつ、国民の皆様の暮らしや経済活動に支障が生じないように適切に判断し、必要に応じてタイムリーに対応するため、「リスクの最小化」の観点から、資金面で万全の備えを取るべく、令和8年度補正予算を編成し、国会の御審議を経て、成立いたしました。

皆様におかれましては、地域経済の要（かなめ）として、引き続き、金融仲介機能を十分に発揮し、個々の事業者に寄り添ったきめ細やかな支援を徹底していただくことを強く期待しております。

地域金融力強化プランについて

また地域に目を向けますと、人口減少や高齢化など、我が国が直面する環境変化も相まって、地域が抱える課題は複雑化しております。

これらの課題に応え、地域経済を盛り上げていくためには、地域金融機関の皆様が「地域金融力」を最大限に発揮していただくことが不可欠であることから、昨年12月、「地域金融力強化プラン」を公表し、今国会において成立した改正金融機能強化法による資本参加制度や資金交付制度の期限延長・拡充等をはじめ、様々な取組を進めております。

皆様におかれましては、長年にわたる密接なコミュニケーションの中で、事業者をはじめとする地域の関係者との間で強い信頼関係を築き上げられてこられたと承知しております。こうした地域との強い結びつきを活かし、「地域金融力強化プラン」に掲げられた各種施策も活用いただきながら、地域企業の価値向上や地域課題の解決、そして地域経済の発展に引き続き貢献いただきたいと思います。

「資産運用立国」の更なる推進

「地域金融力」の強化と並ぶもう1つの大きな政策課題は、「資産運用立国」の推進です。先程、総理も言及されておりましたが、これまでの「資産運用立国」の取組を更に発展させた新たな金融戦略を策定します。

私が分科会長を務める「新戦略策定のための資産運用立国推進分科会」において、4月下旬に骨子案をお示しし、現在、様々な方からのご意見を頂戴しながら、最終的な調整を進めているところです。その中でも、地域金融力の強化は、重要なテーマとして位置付ける予定です。

おわりに

全国254の信用金庫で、約10万人の職員の方々が、日々汗を流し、地域を支えていただいております。

日本経済は構造的な課題に直面していますが、皆様一人ひとりのきめ細やかな支援の積み重ねが、必ずや地域の発展へと繋がり、日本全体を

盛り上げ、未来を切り開いていくことに繋がると確信しています。

結びに、信用金庫業界の今後の更なる発展と、本日まで出席の皆様のご健勝をお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



写真：会場の様子
(提供) 全国信用金庫協会